



2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 サンネクスタグループ株式会社
コード番号 8945 URL <https://www.sunnexta.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇
四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5229-8839

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,974	5.4	151	3.0	152	4.9	100	1.2
2022年6月期第1四半期	2,086	4.3	156	0.3	159	5.4	99	79.5

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 252百万円 (86.4%) 2022年6月期第1四半期 1,851百万円 (241.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	11.13	10.79
2022年6月期第1四半期	9.95	9.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	10,249	7,578	72.6
2022年6月期	10,625	7,483	69.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 7,446百万円 2022年6月期 7,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		17.00		18.00	35.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)		18.00		18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	3.5	780	11.6	820	12.1	540	72.7	59.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	10,694,800 株	2022年6月期	10,692,700 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	1,632,636 株	2022年6月期	1,632,636 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	9,061,564 株	2022年6月期1Q	10,019,412 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ¹⁾(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化の兆しが見られましたが、ウクライナ情勢の長期化に伴う各種資源価格の高騰や急速な円安の進行など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においては、少子高齢化の進行や働き方の多様化の拡大により人手不足が深刻化しており、企業によるアウトソーシングの需要は引き続き高い状況にあります。また、マンション管理市場においても新築分譲マンションは毎年供給され続けており、マンションストック数は年々増加しております。近年、新型コロナウイルスの感染拡大が新規顧客開拓に影響を及ぼしてはりましたが、徐々に感染拡大前の水準に戻りつつあります。

このような状況のもと、当社グループは3年目となる中期経営計画「NEXT STANDARD 2025」を推進し、アウトソーシングの価値を最大化していくことへの挑戦を続けております。2023年6月期においては、コロナ禍で停滞した新規受託の回復や、事業拡大と生産性向上への積極投資を継続しながら、アウトソーシング領域の拡大とオペレーションの変革をさらに推し進めてまいります。

当第1四半期における連結業績は、以下のとおりであります。

売上高は19億74百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は1億51百万円（同3.0%減）、経常利益は1億52百万円（同4.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億円（同1.2%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①社宅マネジメント事業

社宅マネジメント事業においては、企業における住宅制度・運用の見直しや周辺業務の更なる外部委託の引き合いは多く、人事・総務向けBPOサービスを含めた社宅関連業務のアウトソーシングニーズは高い状態を維持しております。当第1四半期は概ね計画通り進捗しておりますが、前期に発生した一部の顧客における解約や特定業務の内製化の影響に加え、デジタル化等の投資が増加したことから、売上高は9億43百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は2億96百万円（同16.4%減）となりました。

②マンションマネジメント事業

マンションマネジメント事業においては、管理戸数が順調に増加したことに加え、不動産活用サービスにおける買取再販取引の増加がありましたが、リフォームサービスを担う株式会社全日総管理が連結対象子会社から外れたことにより、売上高は9億24百万円（前年同期比5.5%減）となりました。利益面では、欠員が生じたことによる人件費の減少やのれんの償却額が減少した結果、営業利益は29百万円（同1,004.3%増）となりました。

③インキュベーション事業

インキュベーション事業においては、24時間対応のコールセンターサービスの受託件数が伸長したほか、保険サービスの代理店手数料が増加したことから、売上高は1億6百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は11百万円（前年同期は5百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億75百万円減少し102億49百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6億7百万円減少し、70億29百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少10億65百万円、営業立替金の増加3億97百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加し、32億20百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加1億72百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4億71百万円減少し、26億70百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億37百万円減少し、19億29百万円となりました。これは主に未払法人税等の減少6億11百万円、営業預り金の減少1億33百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、7億41百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加72百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、75億78百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加1億51百万円、利益剰余金の減少62百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の通期連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,634,168	4,568,584
売掛金及び契約資産	349,051	246,533
営業立替金	1,132,312	1,529,345
商品	1,704	4,296
販売用不動産	171,507	184,922
仕掛品	8,247	7,010
貯蔵品	10,406	12,676
その他	332,330	478,792
貸倒引当金	△3,339	△2,870
流動資産合計	7,636,390	7,029,291
固定資産		
有形固定資産	227,031	239,986
無形固定資産	348,945	370,093
投資その他の資産		
投資有価証券	2,145,344	2,318,117
その他	267,439	291,845
貸倒引当金	—	△23
投資その他の資産合計	2,412,783	2,609,938
固定資産合計	2,988,761	3,220,017
資産合計	10,625,151	10,249,308
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,560	131,634
未払法人税等	692,654	80,855
営業預り金	641,150	507,562
賞与引当金	52,997	132,450
役員賞与引当金	9,520	2,850
株主優待引当金	8,055	—
その他	897,657	1,073,938
流動負債合計	2,466,595	1,929,290
固定負債		
退職給付に係る負債	193,965	188,440
繰延税金負債	479,236	551,258
その他	2,170	1,520
固定負債合計	675,371	741,218
負債合計	3,141,966	2,670,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	972,383	973,318
資本剰余金	727,333	728,268
利益剰余金	5,580,378	5,518,237
自己株式	△1,187,197	△1,187,197
株主資本合計	6,092,898	6,032,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,262,307	1,413,458
その他の包括利益累計額合計	1,262,307	1,413,458
新株予約権	127,978	132,712
純資産合計	7,483,184	7,578,798
負債純資産合計	10,625,151	10,249,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,086,440	1,974,507
売上原価	1,591,561	1,515,130
売上総利益	494,879	459,377
販売費及び一般管理費	338,817	307,939
営業利益	156,061	151,438
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	20
受取手数料	606	259
補助金収入	2,430	614
受取保険金	703	22
その他	1,024	129
営業外収益合計	4,808	1,044
営業外費用		
その他	905	343
営業外費用合計	905	343
経常利益	159,964	152,139
特別利益		
新株予約権戻入益	—	51
特別利益合計	—	51
特別損失		
固定資産除却損	—	27
特別損失合計	—	27
税金等調整前四半期純利益	159,964	152,163
法人税等	60,179	51,222
四半期純利益	99,785	100,940
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,785	100,940

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	99,785	100,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,752,145	151,150
その他の包括利益合計	1,752,145	151,150
四半期包括利益	1,851,930	252,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,851,930	252,091
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,012,814	978,125	95,501	2,086,440	—	2,086,440
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	94	2,054	18,095	20,244	△20,244	—
計	1,012,909	980,179	113,597	2,106,685	△20,244	2,086,440
セグメント利益又は損失 (△)	354,532	2,695	△5,247	351,980	△195,918	156,061

(注) 1. セグメント利益の調整額△195,918千円は、セグメント間取引消去3,219千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△199,137千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)2
	社宅マネ ジメント 事業	マンショ ンマネジ メント事 業	インキュ ベーショ ン事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	943,745	924,289	106,472	1,974,507	—	1,974,507
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	94	1,729	17,515	19,339	△19,339	—
計	943,840	926,019	123,988	1,993,847	△19,339	1,974,507
セグメント利益	296,331	29,770	11,468	337,569	△186,131	151,438

(注) 1. セグメント利益の調整額△186,131千円は、セグメント間取引消去4,881千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,012千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。